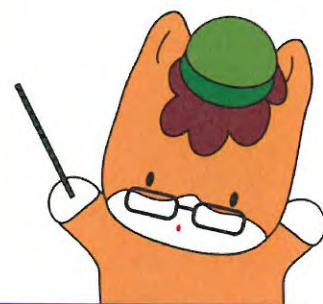


大学生の 食に関する実態・意識 調査結果のお知らせ



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」

Shokuiku GUNMA 食育 2011-2015 こころプラン

第2次群馬県食育推進計画

生涯食育社会の
実現のために
つづけましょ！
食育



■将来の自分、そして次世代のために 「若い世代の食育」が重要です！

- 群馬県では、県民が食の大切さを理解し、食を通して豊かな人間性を育み、**生涯にわたり食育を実践することができるよう**「ぐんま食育こころプラン—群馬県食育推進計画—」を推進しています。
- ライフステージの中でも、**義務教育を終了した若い世代（青年期）**は生活環境の変化の多い頃で、**食生活にも多くの問題が指摘**されていますが、健康への関心が低い傾向にあります。
- 一方、若い世代（青年期）は、生活習慣病の一次予防に有効な世代であり、**次世代を産み育てる重要な世代**であることから、食生活の重要性について認識し、**自分の食生活をデザインできる力を身につける**ことが重要となっています。
- そこで、群馬県では若い世代（青年期）の代表である県内の大学生を対象に「食に関する実態・意識調査」を実施しました。この調査結果を公表することにより、**県内の大学生と一緒に、今後の若い世代（青年期）への食育のアプローチの方法や食生活の支援体制の推進**について、検討していきたいと思えます。

調査対象 県内大学（4年制大学15校、短期大学9校）の学生
1,394人（男性697人、女性697人）

調査時期 平成24年12月～平成25年1月中

調査方法 ①調査票は、各大学の協力により学生に配布し、回収
②調査票の記入は、無記名自記式
③集計は、高崎健康福祉大学に委託

調査内容 ①食生活等の状況
・朝食の摂取状況・外食の利用頻度・欠食の頻度等
・健康状態（身体面・精神面等）・睡眠時間
②「食育」や日ごろの食生活についての認識
・「食育」の周知と関心
・現在及び今後の食生活についての認識

回収率及び有効回答数

回収率 92.9%

有効回答数 1,288人（男性567人、女性721人）